

河川に係る環境整備の評価手法について

平成19年8月8日
関東地方整備局

1. これまで実施されたCVMの課題

河川に係る環境整備の経済評価の手引き(案)【平成12年6月】

課 題	課題に対する背景
○CVMの精度が低いのではないか。	○これまでマニュアルに従って、実施したCVMで、実施方法にバラツキが見られる。 ・支払い方法について、『年額』あるいは『月額』など、聞き方にバラツキがあった。 ・オープンエンド方式、二段階二項選択、多段階二項選択など回答方式にバラツキが見られた。 ・最大提示額・最小提示額の提示方法が明確に示されていない。 ・アンケートの配布方法が統一的に決まっていない。

2. CVMの精度を向上させるために

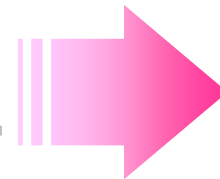
H17～H18にて、マニュアルを再度検討

I. アンケート調査票の統一的な記載例を作成する。

マニュアル記載 事例紹介

① これまで【支払方法】について…

「毎月〇〇円」「年間あたり〇〇円」
どちらか一方の記載を…



『毎月』『年間あたり』
を併記することを推奨！！

(1)もし、あなたの世帯の負担が

毎月1,000円(年間12,000円)の場合、事業に賛成しますか。

毎月1,000円と年間12,000円は、
同じ金額であるが感覚的に「毎月1,000円」は安い印象を受けやすい。

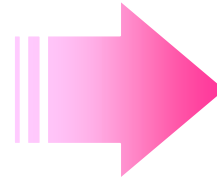
②これまで【回答方式】について…

「オープンエンド」

「二段階二項選択」

「多段階二項選択」

などの回答方式があった。



『多段階二項選択』
とすることを推奨！！

(1)もし、あなたの世帯の負担が毎月50円(年間600円)の場合、事業に賛成しますか。

1. 賛成

2. 反対

(2)もし、あなたの世帯の負担が毎月100円(年間1,200円)の場合、事業に賛成しますか。

1. 賛成

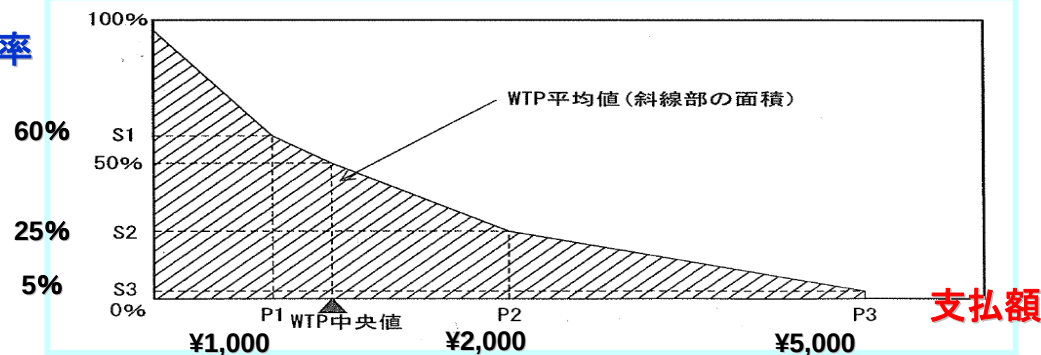
2. 反対

(3)もし、あなたの世帯の負担が毎月300円(年間3,600円)の場合、事業に賛成しますか。

1. 賛成

2. 反対

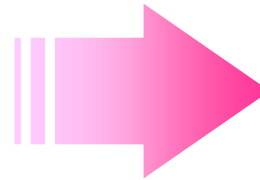
賛同率



③ これまで【最大提示額】

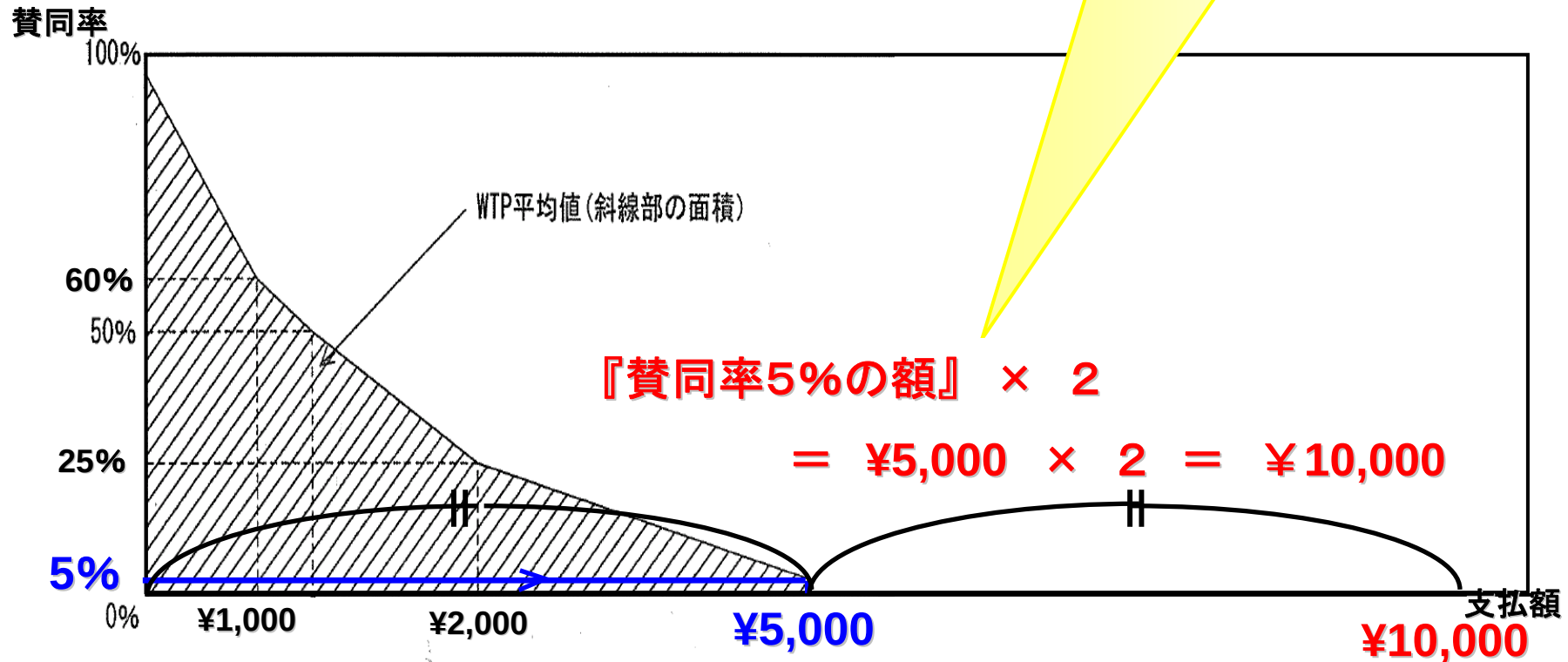
【最小提示額】

について...



設定方法について、規定がなかった。

最大提示額は、
『賛同率5%の額』の2倍
の額とする。

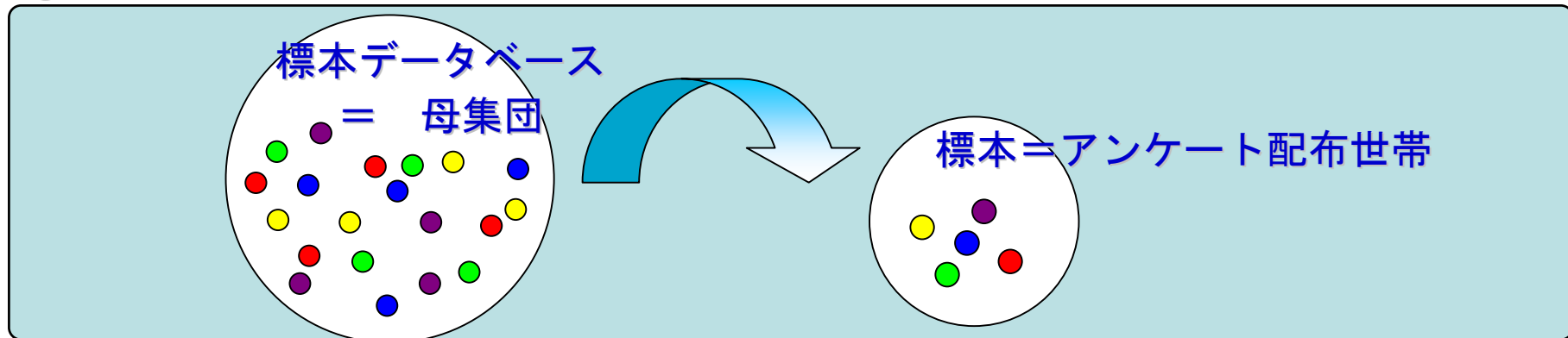


最小提示額は、『最大提示額』の1/100

あるいは、¥50、¥100など少額とする。

Ⅱ. アンケート調査票の配布方法について統一的なルールを設ける。

④ー1 標本データベースについて



データベース名称	標本の代表性	情報の鮮度 無効票の発生	手続き 時間・費用	個人情報の取り扱い
住民基本台帳	◎ 網羅性が高く、偏りが小さい	◎ 毎月更新することから更新性が高く、最新の情報を得ることが可能	△ 時間・費用がかかる。	○ 個人情報保護法により、公的機関のみ使用が認められる。
電話帳	○ 持家世帯・高齢者世帯に偏りが見られる。	△ 更新頻度が一年程度で、更新性が低い。共同住宅など住所が特定できない。	◎ 短期間で実行可能。コストも安い。	△ 目的外使用である。
選挙人名簿	◎ 網羅性が高く、偏りが小さい。	○ 更新頻度は、一年程度である。	○ 時間がかかる。費用はかからない。	○ 目的外であるが、公的機関の調査では使用が認められる。
インターネットアンケート	△ 若年層に多く見られる。	◎	◎	○ 登録済みのモニタに対するアンケートであるため、苦情は少ない。

住民基本台帳が、時間・費用面での制約がなければ最適である。

→ 『住民基本台帳』を推奨する。

④ー2 アンケートを配布する範囲について

利用実態調査から、アンケート配布範囲を設定する。

◇利用圏域の把握

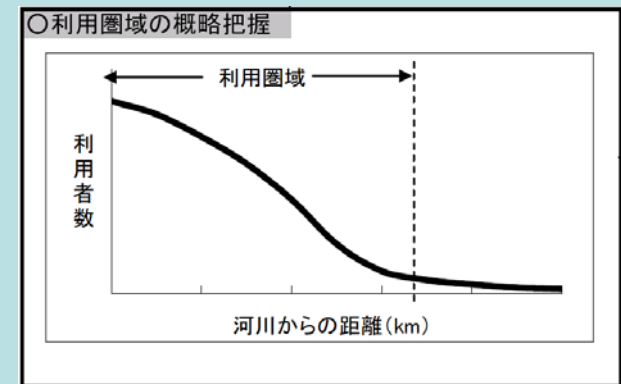
アンケート調査の前段に、事業箇所にて利用実態調査を行う。

→ 利用者が何処から来ているかを把握。

→ **利用している大半の方を捕捉できる範囲**を整理。



事業の効果範囲であるとし、
アンケート調査範囲とする。



◇マニュアルでは、整備内容に応じた

標準的な配布範囲を整理。

事業箇所から半径〇〇km

整備内容	事業箇所の特性	
	← 都市河川	地方河川 →
坂路・散策路	20km程度	—
拠点整備	—	40km程度
水辺の楽校	20km程度	10km程度
水辺プラザ	40km程度	20km程度